

第 26 回日本内視鏡外科学会総会（26th JSES）のご案内

第 26 回日本内視鏡外科学会総会を下記のとおり開催いたします。会員の皆様には多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

第 26 回日本内視鏡外科学会総会
会長 山下 裕一

会 期：2013 年（平成 25 年）11 月 28 日（木）～30 日（土）

※今回より、初日も午前からの開催となります。ランチョンセミナーも 3 日間開催いたしますので是非ご参加ください。

会 場：福岡国際会議場

〒 812-0032 福岡市博多区石城町 2-1 TEL：092-262-4111（代表）
福岡サンパレス

〒 812-0021 福岡市博多区築港本町 2-1 TEL：092-272-1123（代表）

会 長：山下 裕一（福岡大学医学部消化器外科 教授）

学術集会テーマ：「Originality & Evidence」

テーマを「Originality & Evidence」と題しまして、先達のオリジナリティーを大切にし、それらから発展した手術手技の治療成果、即ち、エビデンスを発表していただくことで内視鏡外科の有用性を確認できる場に致したいと考えています。今後も、発展を続ける外科手術手技分野ではありますが、その遂行に当たっては常に高度な技術の習得を必要とする分野であります。今後もさらに安全な外科手術手技の発展を確保するためには、優れた手術手技と周術期管理の知見を学会総会の場にて発表し会員同士の交流を行うことが必要です。

演題募集について：演題募集を締め切りました。多数のご応募ありがとうございました。

問合せ先：第 26 回日本内視鏡外科学会総会 運営事務局

株式会社コンベンションリンクージ内

〒 812-0016 福岡市博多区博多駅南 1-3-6 第三博多偕成ビル 11 F

TEL：092-437-4188 FAX：092-437-4182

◇プログラム（予定）

※ウェブサイトにて随時情報を更新いたします。

<http://www.c-linkage.co.jp/jses26/>

講演予定者

◆国際名誉会員講演

- ・ Gregory V. Stiegmann, M.D.
(University of Colorado School of Medicine, Denver, USA)
- ・ Minhua Zheng, M.D.
(Department of Surgery, Ruijin Hospital, Shanghai, China)
- ・ Jun-Gi Kim, M.D.
(Department of Surgery, Seoul St. Mary's Hospital, the Catholic University of Korea, Seoul, South Korea)

◆招請講演

- ・ Jozsef Sandor, M.D.
(Surgical Department, Semmelweis University, Budapest, Hungary)
- ・ Steven M. Strasberg, M.D.
(Surgery Section of HPB/GI Surgery, Washington University, Saint Louis, USA)

◆海外講演者

- ・ Lawrence Ho, M.D.
(Professor of Medicine ; Chair, University Medicine Cluster ; Head, Department of Medicine ; Head, Department of Gastroenterology & Hepatology, Clinical Director of the Endoscopy Centre ; National University Health System, Singapore)
- ・ Sanghoon Jheon, M.D.
(Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Seoul National University Bundang Hospital)
- ・ Seon-Hahn Kim, M.D.
(Professor and Chief, Colorectal Division, Department of Surgery, Korea University Hospital, Korea University College of Medicine, Seoul, Korea)
- ・ Hwei-Ming Wang, M.D.
(Division of Colorectal Surgery, Department of Surgery, Taichung Veterans General Hospital, Taiwan)
- ・ Woo Jin Hyung, M.D., Ph.D.
(Department of Surgery, Yonsei University College of Medicine, Robot & MIS Center, Severance Hospital, Yonsei University Health System)

◆会長講演：Originality & Evidence

- ・ 山下 裕一
(福岡大学医学部消化器外科 教授)

◆特別講演：人工衛星プロジェクト～モノづくりは人づくり～

- ・ 棚橋 秀行
(宇宙開発協同組合 SOHLA 専務理事)

◆臨床統計講座：科学的根拠を創出する臨床統計入門—プロペンシティスコア法の実践講座—

- ・ 西澤 英子
(日本アイ・ビー・エム株式会社)

◆食道内視鏡外科の現状—食道内視鏡外科研究会アンケート結果報告—

- ・小澤 壯治
(東海大学医学部消化器外科 教授)

◆特別企画

- ・出月康夫先生メモリアルシンポジウム
「あの時、彼は何をめざしたのか? そして、その現在は、未来は」
- ・内視鏡外科の近未来
- ・内視鏡外科診療ガイドライン公聴会
- ・内視鏡外科学会の E-ラーニングの内容、題材としてどのようなものが適当か?

◆企画

- ・山形基夫—熱き内視鏡外科医の軌跡—

◆シンポジウム

- ・腹腔鏡補助下胃切除術の標準化はここまで来た
- ・良性腸疾患に対する内視鏡外科のエビデンスを問う
- ・大腸癌に対する内視鏡外科のエビデンスを問う
- ・ロボット手術の現状と将来
- ・腹腔鏡下肝切除術の現状と今後のゆくえ
- ・医工連携による内視鏡手術の進歩はどこまで行くのか
- ・各領域における reduced port surgery の手技と位置付け (ビデオシンポジウム)
- ・胃癌に対する内視鏡外科のエビデンスを問う
- ・エネルギーデバイスのそこが知りたい
- ・肺癌に対する胸腔鏡下手術での再発形式と予後の検証
- ・TG 13 新基準からみた急性胆嚢炎の診断と治療
- ・婦人科腹腔鏡下悪性腫瘍手術のエビデンスを問う
- ・腹腔鏡下ヘルニア手術のピットフォール
- ・腎癌に対する腹腔鏡下腎部分切除術のエビデンスを問う
- ・単孔式内視鏡手術の将来
- ・内視鏡外科技術認定の現況
- ・前立腺癌に対する腹腔鏡手術のエビデンスを問う
- ・腹腔鏡がもたらした脾臓外科の新たな知見とは
- ・Reduced Port Surgery の適応は?—各領域における現状と手技—

◆パネルディスカッション

- ・内視鏡外科におけるステープリングデバイスの適切な使用方法 (消化管)
- ・NOTES の現状と今後の展望
- ・急性虫垂炎手術の展開
- ・小児内視鏡外科手術の標準化へむけて 高難度手術の標準化は可能か—食道閉鎖症・胆道拡張症・鎖肛
- ・腹腔鏡下单純子宮全摘術の現状と将来

- ・心臓血管領域における内視鏡外科の応用
- ・腹腔鏡下肥満外科手術の健全な発展に向けて
- ・胸腔鏡下手術での血管損傷の実状と対策
- ・腹腔鏡下胃切除術の普及と教育
- ・直腸癌に対する側方郭清のあり方（ビデオ含める）
- ・肝臓外科の手術法の工夫
- ・食道・胃外科領域の手術法の工夫
- ・先端技術の内視鏡外科への応用
- ・腹壁癒痕ヘルニアの腹腔鏡下ヘルニア修復術のエビデンスを問う
- ・腹腔鏡下胃切除術における鏡視下再建の工夫
- ・大腸手術における Reduced Port Surgery の意義と定義
- ・単孔・Reduced Port Surgery と Conventional Endoscopic Surgery の接点
- ・鼠径部ヘルニアの単孔式・細径式腹腔鏡下ヘルニア修復術のエビデンスを問う
- ・腹腔鏡下総胆管結石手術の標準化に何が必要か？
- ・泌尿器単孔式手術の現状と将来
- ・各領域における最良のトレーニングシステムを示す
- ・左側横行結腸癌／下行結腸癌の手術：剥離・吻合のコツ
- ・動画映像の管理と配信
- ・ロボット支援前立腺全摘除術の工夫とトレーニング
- ・消化器・呼吸器外科におけるロボット支援手術
- ・臨床工学士，手術室看護師，病棟看護師から見た内視鏡手術
- ・胸部食道癌に対する合理的縦隔郭清
- ・内視鏡外科手術におけるナビゲーションシステムの応用

◆ワークショップ

- ・腹壁ヘルニア・その他の手術法の工夫
- ・肝臓外科のトラブルシューティング
- ・甲状腺・乳腺の手術法の工夫
- ・婦人科における単孔・Reduced Port Surgery
- ・小児内視鏡外科手術の安全性を目指した教育システム
- ・肥満手術の工夫とピットフォール
- ・膜構造を再認識した腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（ビデオワークショップ）
- ・救急医療における内視鏡外科の工夫
- ・腹腔鏡下胆管消化管吻合
- ・単孔・Reduced Port 内視鏡手術のトレーニングと教育
- ・単孔・Reduced Port Surgery における機器開発と工夫（医工連携も含む）
- ・腹腔鏡下膀胱全摘術
- ・縦隔腫瘍に対する鏡腔鏡手術
- ・新しい内視鏡手術機器・材料の開発
- ・胃外科手術のトラブルシューティング
- ・炎症性肺疾患に対する胸腔鏡手術

- ・胃癌切除 # 8～# 11 の郭清法（開腹術と同等に行えるか）
- ・腹腔鏡下脾切除術における脾切離法の工夫とそのエビデンスを問う
- ・単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の限界
- ・ロボット支援手術のトレーニング
- ・自動吻合器・縫合器の最良の使用法
- ・若手外科医の内視鏡外科手術トレーニング
- ・泌尿器科ロボット手術におけるトラブルシューティング
- ・大腸外科手術のトラブルシューティング
- ・安全な中結腸動脈根部を郭清する（ビデオワークショップ）
- ・腹腔鏡下脾臓摘出術の工夫とトレーニング
- ・食道アカラシア：内視鏡外科手術 VS 経口内視鏡手術

◆要望演題

- ・内視鏡外科手術のエビデンス（症例集積，観察研究，比較対照研究など）
- ・内視鏡外科手術の教育システム
- ・研修医発表（初めての内視鏡外科手術）
- ・医工連携（ニーズとシーズ）
- ・動画・画像に関する工夫
- ・NOTES
- ・単孔・Reduced port 手術の工夫・トレーニング・ピットフォール
- ・高齢者手術
- ・ハイブリッド・LECS
- ・救急と内視鏡外科
- ・チーム医療
- ・SSI・縫合不全対策
- ・移植ドナー臓器摘出と内視鏡外科手術
- ・肥満手術関連
- ・食道領域における困難症例対策や合併症軽減の工夫
- ・胃・十二指腸領域における困難症例対策や合併症軽減の工夫
- ・大腸領域における困難症例対策や合併症軽減の工夫
- ・肝・胆・膵領域における困難症例対策や合併症軽減の工夫
- ・経膈的アプローチ
- ・子宮内膜症
- ・小児単孔式内視鏡外科手術の適応拡大と限界等
- ・小児呼吸器・縦隔疾患に対する内視鏡外科手術
- ・小児泌尿器疾患に対する内視鏡外科手術
- ・婦人科領域における困難症例対策や合併症軽減の工夫
- ・泌尿器科における困難症例対策や合併症軽減の工夫
- ・内視鏡外科手術に必要な臨床工学士とは？

◆主要関連演題，一般演題

※詳細は HP をご覧ください。

◆教育セミナー

- ・消化器・一般外科【日程：2013 年 11 月 28 日（木） 14：00～15：30】
- ・婦人科・泌尿器科【日程：2013 年 11 月 30 日（土） 16：40～18：10】

◆発表方法：全ての発表は PC 発表にて行います。スライドでの発表はできませんので、ご注意ください。発表データはご自身のノート PC（Win/Mac）、USB メモリー（Win）のいずれかにてお持込ください。Macintosh ご利用の場合は、必ずご自身のパソコンをご持参ください。動画に関しては、全て PC（Win/Mac）を用いてご発表いただきます。会場にビデオ機材はご用意しておりませんので、ご注意ください。

◆参加費：会員・非会員：15,000 円

研修医・メディカルスタッフ： 5,000 円

学部学生：無料（※当日、学生証を参加費受付にてご提示下さい）

◆医工連携広場

—ものづくり 日本の技術 医療機器 世界の外科医へ 届けよう—

日本の医工連携を促進させるため、期間中、会場内にて医学・工業・産業の交わる出会いの場を設けることといたしました。経済産業省九州経済産業局、九州ヘルスケア産業推進協議会、日本医工ものづくりコモンズのご協力を得ており、以下の 4 つの企画を開催する予定です。

- (1) ものづくりを中心とした中堅・中小企業の出展・シーズ発表
- (2) 医療現場に従事する学会員からの医療機器開発に係る課題・ニーズ発表
- (3) 医工連携の加速をサポートする機関による出展・ソリューション発表
- (4) 医療機器開発に関する医師・企業・機関の相談・マッチングスペースの提供

詳細につきましては下記総会ホームページにてご確認ください。

<http://www.c-linkage.co.jp/jses26/ikourenkei.html>

会員懇親会：日 程：2013 年 11 月 29 日（金）

会 場：福岡サンパレス

2 階「パレスルーム」

18：00 開宴（17：30 より一部開始します）